

○電気電子工学科の口頭試問の趣旨(意図)

本校電気電子工学科の口頭試問は、正確に問題を解き、答えられるかを問うだけではなく、受験生が自分なりの解答を考えその理由を説明できるかを重視しています。

特に口頭試問2に関して、ファイル形式等詳細な条件を受験生に示してしまうとほとんど答えを教えてしまっている状況となってしまう、また、その条件を受験生が理解できるのかという問題もあります。

そのため、あえて二つの画像の条件を示さずに見せ、データ量が少なくなる理由を考えさせるという問題の作り方をし、自分なりの解答を考え理由を説明できるかを問うています。

○解答例

口頭試問1	口頭試問2
<p>「磁界」・「磁場」・「磁力線」、方位磁針の向きは右と解答し、以下のような理由を答えることができた。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・右手の法則から、磁界の向きを親指とし、その他の指が電流の流れる向きとすると、磁界の向きは右になり、方位磁針は磁界の方向に N 極を指し示すから。・コイルの中は右向きに磁界が発生しており、方位磁針は磁界の方向に N 極を指し示すから。 <p>など</p>	<p>「B」と解答し、以下のような理由を答えることができた。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・B は白黒画像なので、色情報がデータに存在しないから。・A は画素の色情報とその強さを記憶しているが、B は画素が白か黒かというデータしかないから。・画像が荒くなっていて、解像度が落ちているから。 <p>など</p>